

洛西ニュータウンアクションプログラム検討会の開催について

1 洛西ニュータウンアクションプログラム検討会の設置

洛西ニュータウンは昭和 51（1976）年 9 月に入居が開始され、本年度で 40 年が経過し、全国の同時期に建設されたニュータウンと同様、人口減少、少子高齢化が急激に進行している。

洛西ニュータウンにおいては、今から約 10 年前の平成 18（2006）年 11 月に、「洛西ニュータウンまちづくりビジョン」が策定され、いち早く、洛西ニュータウン創生推進委員会等の地域が主体となってまちづくり活動に取り組みられてきており、学区・地域を越えた連携や協力体制が構築されるに至った。

しかしながら、前掲のとおり、人口減少、少子高齢化の進行に歯止めはかからず、地域全体の活力低下も見られる一方、市営住宅等施設では老朽化が進み、設備や仕様が時代に合わなくなっているところや有効活用が図れていないところなどが見受けられる状況にある。

このような状況にある洛西ニュータウンであるが、本市において良好な住宅・住宅地を供給するために必要なインフラ整備が行われている住宅市街地であり、本市及び西京区の人口を確保するためにこれらの社会資源を持続的に維持することが重要である。

そのため、今一度「洛西ニュータウンまちづくりビジョン」を基に、策定から 10 年を経た現状も踏まえながら、今後どのような取組を喫緊に、重点的に行う必要があるのかを、専門的な見地及び地域の住民や事業者の方々の立場から幅広く意見を求めながら検討し、下記 2 に掲げるプログラムとして取りまとめるため、「洛西ニュータウンアクションプログラム検討会」を設置する（開催は平成 28 年度中に 4 回を予定）。

2 洛西ニュータウンアクションプログラムの取りまとめ

平成 28 年度中を目途に、以下のとおり取りまとめる。

(1) 対象年度

平成 29 年度から平成 32 年度まで（今後 4 年間）

(2) 対象地域

洛西ニュータウン（ただし、大枝・大原野地域と連携）

(3) 検討の視点

資料 5 のとおり

(4) 検討事項

アクションプログラムのうち、「取組の方針、取組項目、連携のあり方」などを上記検討会において検討することとし、「より具体的な内容（どの主体が、いつ、何をするのか）」については補助組織であるワーキンググループにおいて検討する。

（ワーキンググループの開催については、資料 6 のとおり）

参考

京都市住宅マスタープラン（京都市住宅生活基本計画）中間見直し（平成 28 年 3 月）においても、施策の新規項目として、「ニュータウンにおける団地再生・ストック活用の推進」が掲げられている。

（内容）

洛西ニュータウンや向島ニュータウン等については、市内全域と比較して少子高齢化が更に進行しています。

そのため、ニュータウン内のそれぞれの地域特性を踏まえる中で、市営住宅において若者世代向けにリノベーションを行い住戸の改善を図ることや、団地周辺の地域を含めたコミュニティの活性化を促進することなどにより、ニュータウン団地の再生を推進します。

以上